

OSSライセンス原文から履行義務確認に必要な情報を抽出するシステム

所属 株式会社東芝

名前 安田 康二

開発における問題点

ソフトウェア開発において、多くのOSSを活用することは一般的になってきている。このOSSにはそれぞれ作者の意図に沿ったライセンスが付与されており、ライセンスには利用者が果たすべき義務が記載されている。しかし、これらは自然言語で記載されており、すべてを読み、履行確認をするのは多くの手間がかかる。

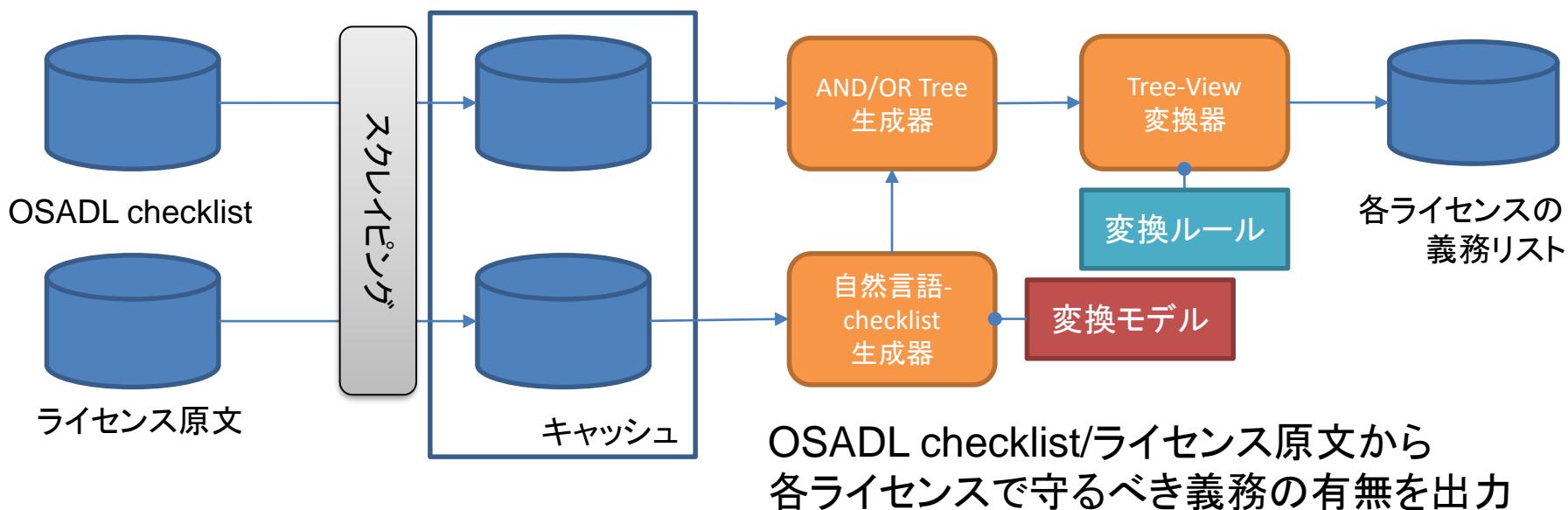
手法・ツールの適用による解決

解決手法として2つの要素を考える。

- OSADL checklist(※1)から義務を抽出
- 原文をOSADL checklist形式に変換

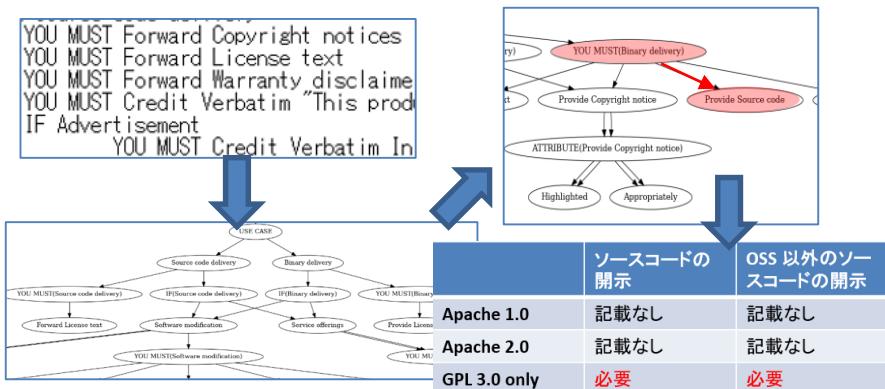
このうち、OSADL checklistは「YOU MUST～」といった義務・禁止事項が記載されている。このchecklistをAND/OR木に変換し探索することで義務を出力する。

システムの概要



実現方法

- 構造化された文章からAND/OR Treeを生成
- AND/OR TreeをXPath類似の方法で検索
- 確認すべき義務が存在するかを出力



設計・実装のポイント

- OSSライセンスは新しい種類、バージョンなど、数は増加していく。このため、任意のタイミングで増加したライセンスの義務確認を行う必要がある。今回の設計では以下の点をポイントとして設計・実装を行った。
- 変換ルールを外部モジュール化したことにより、柔軟な項目設定が可能
 - 現在はOSADL checklist形式のみに対応しているが、ライセンス原文から生成するコンポーネントを用意しているため、変換モデルを用意することで新しいライセンスにも対応可能

※1: OSADL checklist
<https://www.osadl.org/OSADL-Open-Source-License-Checklists.oss-compliance-lists.0.html>